

## 2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	水と緑の公私計画論とマネジメント小委員会		主 査 名：岡村幸二 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 ( 水環境運営委員会)		委員長名：秋元 孝之 主 査 名：中野 民雄
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2022 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>公と私の多様な主体間の関係と水辺空間のあり方における、諸制度・地域的ルール、水辺空間の公私計画論あるべき姿を明らかにする。</p> <p>(初年度及び2年度)：公私計画の対象を「水」と「緑」に拡大し、公と私融合する場におけるマネジメントのあり方を検討する。また、各委員の実績をふまえた公私計画論を展開していく。</p> <p>(3年度)：2年間の小委員会活動を発展させて、報告書に取りまとめるとともに、書籍(刊行・出版)準備作業を行っていく。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	主査 幹事	岡村幸二 (株)建設技術研究所 菅原 遼 日本大学理工学部海洋建築工学科 市川尚紀 近畿大学工学部建築学科 上山 肇 法政大学大学院政策創造研究科 畔柳昭雄 日本大学理工学部海洋建築工学科 村川三郎 広島大学名誉教授 田中貴宏 広島大学大学院工学研究科 青木秀史 (株)オリエンタルコンサルタンツ 飯田哲徳 (株)建設技術研究所 小海 諄 日本工営株式会社 長屋静子 (一社)流域フォーラム代表理事	
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2021 年度予算	43,000 円		

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む) 2021 年度、4/16(Web),5/24(Web),6/17(Web),7/5(Web),8/2(Web),11/11(Web),3/予定
刊行物 (シンポジウム資料等除く)	(書名) 水辺の公私計画論 (技報堂出版：2023 年 3 月刊行予定)
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) 能力開発委員会承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会メンバーにより刊行内容の目次構成の再検討を重ねた。(90%) 2. 出版刊行に向けてメンバー全員からの合意が得られた。(90%) 3. (名称) 日本建築学会大会論(9/7 ビデオ・オンラインで発表) (資料名) 水と緑の公私計画論に関する研究 5 編 (その 19～その 23)
委員会活動の問題点・課題	1. コロナ禍でのオンライン会議では、公私計画論に対する各委員の〇〇論への十分な共有をするのに限界があり、やはり対面によるディスカッションの重要性が改めて確認された。

## 2021 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>・今年度の日本都市計画学会大会の論文発表では、コロナ禍の対応として、発表者が事前に録画した上でオンライン形式の質疑応答を行った。本小委員会の研究テーマと連動して「水と緑の公私計画論に関する研究」と題する 5 編 (NO.19～NO.23) の発表を行った。</p> <p>・2018 年から始めた「水と緑の公私計画論に関する研究」は、同じテーマを連続して 4 年間合計 23 編の一連の論文を掲載したことになり、公私計画論における複合的利用、多様性、歴史性・地域性、利害・市民要望、計画・デザインの工夫などの主要テーマに関して、各委員の専門分野から幅広く奥行きのある研究を進めることができた。</p> <p>・本研究の小委員会で検討された公私計画論の全体構成に基づいて、各委員別の研究テーマと事例紹介などが整理された。それと同時並行的に「水と緑の公私計画論刊行委員会」が進められて出版原稿の内容に発展していったことは、研究の終着点として意義のあることであると思われる。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。